

農薬の適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コナガ アオムシ アブラムシ類 アザミウマ類 ハイダバラノメイガ	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット 1冊（約30×60cm、 使用土壌 約1.5～ 4L）当り 50g	育苗期後半 ～定植当日	1回	本剤の所定量 をセル成型育苗 トレイまたは ペーパーポット の上から均一に 散布する。	4回以内 （定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 3回以内）
	コナガ アオムシ ハイダバラノメイガ	1g/株	育苗期後半 ～定植時		株元散布	
	アブラムシ類 アザミウマ類	2g/株				
はくさい	コナガ アオムシ アブラムシ類 ハイダバラノメイガ	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット 1冊（約30×60cm、 使用土壌 約1.5～ 4L）当り 50g	育苗期後半 ～定植当日		本剤の所定量 をセル成型育苗 トレイまたは ペーパーポット の上から均一に 散布する。	
	コナガ アオムシ ハイダバラノメイガ	1g/株	育苗期後半 ～定植時		株元散布	
	アブラムシ類	2g/株				
ブロッコリー	コナガ アオムシ アブラムシ類 アザミウマ類	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット 1冊（約30×60cm、 使用土壌 約1.5～ 4L）当り 50g	育苗期後半 ～定植当日	本剤の所定量 をセル成型育苗 トレイまたは ペーパーポット の上から均一に 散布する。		
	コナガ アオムシ	1g/株	育苗期後半 ～定植時	株元散布		
	アブラムシ類 アザミウマ類	2g/株				
レタス	オタバコガ アブラムシ類 ハモグリバエ類	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット 1冊（約30×60cm、 使用土壌 約1.5～ 4L）当り 50g	育苗期後半 ～定植当日	本剤の所定量 をセル成型育苗 トレイまたは ペーパーポット の上から均一に 散布する。		
	オタバコガ ハモグリバエ類	1g/株	育苗期後半 ～定植時	株元散布		
なばな類	アブラムシ類	2g/株	定植時	育苗培土混和	1回	
ピーマン			アザミウマ類 コナジラミ類		鉢上げ時	株元散布
	育苗期後半 ～定植時					

(つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	コナジラミ類	2g/株	鉢上げ時	1回	育苗培土混和	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 3回以内)
	ハモグリバエ類 アブラムシ類 アザミウマ類		育苗期後半 ～定植時		株元散布	
きゅうり	アブラムシ類		鉢上げ時		育苗培土混和	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 3回以内)
	アザミウマ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類		育苗期後半 ～定植時		株元散布	
なす	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類		育苗期後半 ～定植時		株元散布	1回
だいこん	コカガ アオムシ アブラムシ類 ハマダラメカイ カブラハチ キスジノミハムシ ネキリムシ類		6kg/10a		は種時	3回 以内
ねぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	収穫前日 まで		株元散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回以 内、定植後の処 理は3回以内 (但し、株元灌 注は1回以内))	
畑わさび	アザミウマ類 ワサビノイロサルゾウムシ	収穫21日前 まで		1回	全面土壌散布	

[プリロックス粒剤オメガのページに戻る](#)

【成分】 シアントラニプロール 0.50%
 鋳物質細粒等 99.5%

【性状】 類白色細粒

殺虫剤分類

28

効果・薬害等の注意

- (1) アルカリ性肥料との同時施用はさけてください。
- (2) つまみ菜・間引き菜には使用しないでください。
- (3) みずかけな（水掛菜）に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用后14日間は入水しないでください。
- (4) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意

- 眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください（刺激性）
- 散布時は、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮ふに付着しないよう注意してください。

保管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。

- ラベルをよく読んでください。
- 記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届くところには置かないでください。
- 空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 防除日誌を記帳しましょう。